

パネルディスカッション開始前の質問

Q (学生) : どういう人がキャリア アップしやすいのでしょうか？

A (田中) : 当たり前ですが、キャリア アップのスピードが速い人は、(1) 自分で考えて実行でき、(2) 意見の違う人たちをまとめて引っ張ることができ (チームを作り動かすことが上手で)、(3) 専門性と人間性の両面でバランスがとれていると感じますが、何と云っても、信頼されることが一番大事でしょう。

Q (学生) : 衛星の名前の付け方？

A (田中) : 日本では衛星の役割を的確に表し、親しみやすい名前を付けます：(誰がどう付けたかは知りませんが) 気象衛星には、太陽を連想させる“ひまわり”；GPS 衛星には“みちびき”；宇宙ステーションのモジュールには“きぼう”というのはロマンと夢があつていいですね。ところが、海外ではトルコの場合“トルコ・サット”，シンガポールと台湾の合弁会社のものだと頭文字をとって“ST-2”というように意外とドライです。

パネルディスカッション

「悔いのない人生とは」

以下は、導入のための田中さんの質問とそれに対する学生コメント：

「悔いのない人生」と聞いて思うこと：悔いのない人生はないので、次に生かすところに意味がある◆人は何もしなかったことを悔いと思うので、ひたすら仕事をすればいいのでは◆挑戦しなかったことと両親を悲しませてしまったことを後悔しがちだと思うので、そうならないようにしたい◆目標に向かって頑張っていれば悔いは残らないだろう。結果はあまり問題ではない。目の前にあることを一つずつこなしていけばいいのではないかと◆活動には後悔はつきものゆえ若いうちは避けられない。「終わり良ければ総てよし」

で、生涯を終える時に幸せな気持ちならば十分と思いたい◆今日死ぬかと思つて必死で生きていれば後悔することはないだろう◆他人と比べるから悔いの感情がわく。自分の考え方を変えて、今のように生活(努力)しているのが一番いいのだと納得すれば済むのでは。しかし、私自身は、実際には後悔を糧に生きて来ています(それでいいのでは！)。

後悔したこと：中学卒業時点で進路をほぼ決めてしまったこと；ほかの道もあったのではと思つてしまう◆小学生の時に些細なことから親友とケンカをし、あやまれば済むところをお互いに意地を張つてしまい、今も音信不通になっていること◆具体的な内容は言いにくいですが、あの時一歩踏み出しておけばということが多々あるので、今後は思い切って挑戦をしていきたい。特に親を悲しませてはいけなと思つている◆高校の時にもう少し英語を勉強しておけばよかったという小さな後悔、今後十分取り返しがつくので後悔のうちには入らないかも◆大きな後悔はないが、研究が進んでいないことなどは、そのうちに後悔しそうな気がする◆情報系に進めなかったことを多少後悔しているので、その分野に近いところを目指そうと努力中。

どうしたら悔いのない就職が出来そうか：断られればその理由を(他の人の意見・アドバイスも参考にしながら)分析し、自分を向上させる糧にできればいいのではないかと◆就職してダメと分かったら(ブラックな企業に当たってしまった時は)転職すればいいような気もする◆後悔のない就職をしたいと思つて努力する◆目指す職種はほぼ決めているが、他の職種についても調べた上で最終結論出せば将来にわたつて後悔することはないと思ふ◆様々な職業について、自分の性格とのマッチングを考えて相性のよさそうなものを選べばいいだろう◆就職を目的として考えず、キャリアのうちの一つとして考えればいいのでは◆知らないものに対して、あるいは知らなかったことに対して悔いが残るので、よく会社や業界のことを調べた上で就活すれば後悔しないのでは。

